

## 平成25年度 北海道小学校長会地区活性化支援事業【研修レポート】

- 1 実施地区：留萌地区
- 2 研修者氏名：里見清孝〔増毛町立舎熊小学校長〕
- 3 研修実施日：平成25年11月26日（火）～27日（水）
- 4 研修先：東京都練馬区立上石神井中学校、東京都品川区立豊葉の杜学園
- 5 研修目的：学力・体力の向上と豊かな心の育成を目指す小中一貫教育の推進
- 6 キーワード：「学力・体力の向上」「豊かな心の育成」「小中一貫」「小中連携」

### 1 はじめに

昨年3月、北海道の教育ビジョンが見直され、平成25年度からの5年間を見通した施策項目について改定した北海道教育推進計画（改定版）が策定されました。その中に、『学校間の連携・接続の推進』があり、とりわけ小学校と中学校との連携において、①小学校から中学校への学習の円滑な移行や生徒指導の充実、②小中一貫教育の取組による支援や教育内容の研究、が主な取組として掲げられています。

基本目標3  
信頼される学校  
づくりの推進

基本方向5  
魅力ある学校  
づくりの推進

施策項目22  
学校間の連携  
・接続の推進

小学校から中学校の間にある段差を適切なものにし、学習のつまずきや問題行動の発生をなくすなど中1ギャップの未然防止に向けて、小・中学校が互いに連携をとった教育を進めることが重要です。小中一貫教育を推進することで、「生きる力」の柱となる「学力・体力の向上」と「豊かな心の育成」を一層育むことができると考えられます。

そこで、子どもの発達段階を踏まえた教育活動の連続性を図るために小中一貫教育に先進的に取り組んでいる東京都内の学校を訪問し、その実際を説明や授業参観を通して研修することにしました。

### 2 練馬区の小中一貫教育の取組

#### (1) 目指すもの

授業改善による  
**学力・体力性  
の向上**

連携指導による  
**豊かな人間性・  
社会性の育成**

滑らかな接続による  
**安定した  
学校生活**

#### (2) 取組の方向

- ・学習指導要領に準拠して、児童生徒の状況や地域特性に応じた、義務教育9年間を見通した教育課程を編成・実施する。
- ・義務教育を3期のまとまりでとらえ、それぞれの期に応じた学びを進める。
- ・小学校から中学校へ進学する際の段差を緩やかにする。
- ・幅広い異年齢集団活動や、他者及び地域社会と積極的に関わる体験的・実践的な活動を通して自己肯定感を高め、自分の生き方を考えさせる。
- ・小中学校の教員の相互理解を深め、協力関係を構築する。
- ・地域社会と連携し、地域特性を生かした特色ある教育活動を進める。



↑ 上石神井小学校

#### (3) 上石神井小学校、上石神井中学校の実践

##### ① 小・中学校教員の協力指導による授業（乗り入れ授業）

上石神井小・上石神井中では、体育の授業に対する意欲と体力の向上を目的として、昨年4月より中学校の保健体育科の教員と小学校教員の協力指導による授業（乗り入れ授業）を毎週火曜日の2～4校時目に6年生の3学級で実施しています。



↑ 上石神井中学校

毎週1時間の授業ですが、児童も中学校の教員に慣れ、楽しく体育の授業に取り組んでいました。

② 中学生が小学生を教えるリトルティーチャー

よりスムーズな小・中学校の接続を目的として、平成17年より、中学生が先生役になって小学生を教えるリトルティーチャーの授業を実施しています。小・中学校の教員が共同で指導案を作成し、事前・事後の指導も協力して行っています。中学1年生と2年生で計2回、全員がリトルティーチャーを経験しています。

3 施設一体型小中一貫校品川区立豊葉の杜学園の実践

(1) 平成25年度の重点的取組<小中一貫教育目標>

自己の将来を見据え、物事に主体的に取り組む力を育てる。

- ・15年間を見通し、「主体性」に重点を置き、カリキュラムマネジメントを行い、基礎学力を定着させ、豊かな社会性・人間性を育成する。
- ・学力向上を目指し、4-3-2のまとまりに系統性をもたせた授業の改善・工夫を進める。
- ・市民科学習を要として、1~4年で基本的な生活習慣、5~7年で規範意識、8~9年で職業観・勤労観を身に付けさせる。



↑ 豊葉の杜学園

(2) 主な教育活動

① 基礎学力の定着

- ・1日の時程の工夫
- ・指導システムの確立（教科担任制、習熟度別指導、豊葉の杜タイム-1~4年-国語・算数・英語、ステップアップ学習-5~7年-3教科、8~9年-5教科）
- ・夏季補習の実施
- ・漢字、数学、英語検定の実施
- ・1年生から英語を実施；ALT、中学校教員、講師、英語ボランティアと担任が連携して指導

② 豊かな社会性・人間性の育成

- ・市民科授業を要として；人格形成上、内容や方法面で関連がありながらも別々に行われていた道徳の時間、特別活動（学級活動）、総合的な学習の時間を統合し、その理念は大切にしつつも、より実学的な内容を盛り込んだ単元で構成する学習
- ・礼儀作法を身に付けるための共通指導事項をもとにして指導；「正しい挨拶」と「正しい言葉遣い」
- ・一貫した生活指導の展開（小中共通の学習規律・生活規律等）；1年生からの授業規律の徹底
- ・各種交流活動；園児と5年生以上の交流、エスコート登校、新入生と9年生の交流、保育園・幼稚園との連携、異学年交流、5年からの部活動 他

○ 豊葉の杜学園の1日

1-4年生		5-9年生	
08:00	開門	08:00	開門
08:25	豊葉の杜タイム	08:25	ステップアップ学習
09:00	1校時開始 (45分授業)	08:40	朝学活
12:30	給食開始	08:50	1校時開始 (50分授業)
13:10	給食終了・清掃	12:40	給食開始
13:25	昼休み	13:10	給食終了・昼休み
13:45	5校時開始	13:30	ステップアップ学習
14:35	6校時開始	13:50	5校時開始
15:30	下校	14:50	6校時開始
		15:40	終学活・清掃
		15:55	下校

※開門は8:00です。  
※水曜日は4時間、土曜日は3時間です。  
※土曜日は隔週授業、給食はありません。

※部活動は最終18:30(冬季は18:00)です。  
※水曜日は5時間、土曜日は3時間です。  
※土曜日は隔週授業、給食はありません。

4 終わりに

年の瀬が迫っていたご多用な中、研修を引き受けていただきました練馬区教育委員会や上石神井小学校、上石神井中学校、豊葉の杜学園の校長先生を始めとしました教職員の皆様にご感謝申し上げます。

2日間にわたって、小中一貫教育の実際を目の当たりにし、とても新鮮かつ大きな刺激を受けました。「小中一貫教育のメリット、デメリットは何ですか？とよく質問されますが、良いことが多いから行っているのです。」と、研修先の校長先生方が自信をもって話された言葉が、耳に残っております。北海道においても今後、実践が推進されることと確信いたしました。私も校長として学ばせていただいたことを、自信をもってまずは広めること、その事から始めようと考えています。